

全国直売所研究会

第3回 西日本ブロック大会



いちごゴロゴロミルク



農産物直売所

新鮮組



長崎県特産品新作品展<最優秀賞>

ケッコイイケてるコンチェプリン



いちご狩り

農業塾



体験教室



長崎ランタンフェスティバル



日時：平成20年 2月7日～8日

会場：おおむら夢ファーム シュシュ

全国直売所研究会 第3回西日本ブロック大会

大会次第

1. 開会 13時30分～
2. 主催者挨拶
3. 来賓祝辞
長崎県
4. 大村市長歓迎挨拶
5. 来賓紹介
6. 研究会
 - (1) 基調講演 14時～
 - (2) 分科会 15時～
 - (3) 全体討議 16時40分～
7. 閉会
8. 地元活動報告 18時05分～
9. 交流会 18時50分～

全国直売所研究会 第3回西日本ブロック大会開催要領

テーマ	『本音トーク、直売所はいかにして生き残れるか！』
目的	今、全国の直売所が地域の特性に応じて発展する一方、多くの解決すべき課題も抱えており、いかにして自分たちの直売所が生き残れるかが問われています。 そこで、先進事例を学ぶと共にその解決策を模索し、今後の経営発展に活かすことを目的とします。
主催	全国直売所研究会
事務局	有限会社 シュシュ
後援	長崎県 諫早市 大村市 長崎県農業会議 県央地域直売所連絡協議会 ながさき県産直ネット NHK 長崎放送局 NBC 長崎放送 KTN テレビ長崎 (株)長崎国際テレビ 長崎文化放送(株) オクト・パルス(株) (株)長崎新聞社 西日本新聞長崎総局 読売新聞長崎支局 朝日新聞社
日時	平成20年2月7日(木)
場所	長崎県大村市弥勒寺町486番地 おおむら夢ファーム シュシュ ぶどう畑のれすとらん

1. 受付 12:00~13:30

2. 開会式典 13:30~13:55

主催者挨拶：全国直売所研究会 会長 長谷川久夫

来賓祝辞：長崎県

歓迎挨拶：大村市長

来賓紹介

3. 基調講演 14:00~14:50

演題『直売所は生き残れるか、食と農を結ぶ』

全農販売推進部審査役：鎌田定宗氏

4. 分科会 15:00~16:30

①生産者の高齢化が進む中でいかに活性化できるか！

②生産者及び社員の意識高揚をいかにしてのばせるか！

③今後生き残れる直売所の秘策談義！

5. 全体討議 及び まとめ 16:40~18:00

6. 大会閉会

7. 県内代表活動報告 18:05~18:35

大地のめぐみ活動報告 農業生産法人 ながさき南部生産組合 理事 永池充宏氏

(有)シュシュ活動報告 有限会社 シュシュ代表取締役 山口成美氏

8. 交流会 18:50~

産品及び商品紹介 PR 地酒交流会

「直売所は生き残れるか、 “食と農を結ぶ”」



講師 全農販売推進部審査役 : かまたさだのり
鎌田定宗氏

I ポケットファームどきどきの概要と歩み

- 1 農業の下請け産業からの脱却
- 2 新しい農業のビジネスモデルの創造

II ポケットファームどきどきの活動理念

- 1 『食は命』地域の食と農業を守ります
- 2 食と農を日常的に結ぶ活動をします

III ポケットファームどきどきブランド戦略

ブランドとは・・・【評判作り】信用の積み重ね（お客様との信頼関係）

安全・新鮮・顔が見える・・・は評判づくり、差別化、独自性にはつながらない

そのためには何をするのか……

- 1 競争を排除しよう（独自性・差別化のために）
- 2 情報を発信しよう（話題作り）
- 3 三の力（施設力・商品力・サービス力）をつけよう
- 4 地域創造産業（製造小売業が基本）を目指そう ex.) 馬路村
- 5 商品（食べ物）の物語づくりをしよう

- 6 キーワードは・・・・・・【楽しい・女性の視点】
・楽しい売場づくり お買い物もレジャーの一つ（選べる 珍しい ワクワクする）
- 7 消費者の囲い込みをしよう（会員制度⇔共感者の創造⇔リピーター）
- 8 地域社会貢献をしよう・・・・・・食農教育の場づくり（手作り紙芝居と農園遠足）
【お金のにおいを消そう・・・・・・】
- 9 農業を通じて環境にやさしい活動をしよう（食環一体の考え方）
- 10 女性と子供達をターゲットに各種イベントに・体験教室を開催しよう

IV 直売所とレストラン（飲食）を結んだ食の提供

- 1 全国農産物販売額 8～9兆円 外食産業売上高 80兆円
- 2 飲食ビジネスは農業理解の手段
- 3 中途半端な飲食事業は命取り（一流のレストランを目指す）
- 4 サービス業の真髄を知ることになる
- 5 反面教師とティアとの出会いと体験談

V 生き残り戦略

- 1 生産者サイド
 - ・ 品揃えと安心感の創出
 - ・ 品質管理と適正価格
 - ・ 生産者の自主的組織づくりと運営
 - ・ 自己責任と経営者感覚とマーケティング力
 - ・ 生産者の所得拡大と安定経営と後継者づくり
 - ・ モノ（農産物）さえあれば、まだまだ伸びる
- 2 運営サイド
 - ・ 直売所間の連携と仲間づくり
 - ・ サービス力の向上
 - ・ 独自性のあるブランド直売所づくり
 - ・ 理念と志とリーダーが決め手

会長 座長、助言者、事務局リスト

会長 長谷川久夫氏 株式会社みずほ代表取締役



(はせがわ ひさお)
茨城県つくば市市議会議長を経て、産直施設のみずほ村市場を立ち上げる。農業経営者づくり、農家が消費者に直接売る場を作ることをポリシーとし、ゆるぎない視座で産直活動のあるべき姿を説く。
全国直売所研究会会長、(社)日本農業法人協会会長、著書「直売所が農村を変える」

第1分科会 座長 三浦俊荘氏 (道の駅きよかわ館長) 全体会進行



(みうら しゅんそう) 大分県豊後大野市 きよかわ物産館館長
旧清川村農林業公社、ふるさと物産館の立ち上げを経て、現在道の駅きよかわ駅長、清川ふるさと物産館館長、大分ヒートデビルス豊肥地区後援会長(プロバスケット)、全日本クラス?のバレーボールの経験を生かし、フェアプレイで過疎・高齢化が進む生産者をまとめる。

第2分科会 座長 鮎川高明氏 (道の駅 竜北 支配人)



(あゆかわ たかあき) 平成14年8月にオープンした道の駅竜北の運営に開業前から携わり、今年で6年目を迎える。地場のスーパーに勤務していたが会社の実質的倒産を経験した後現在に至る。農産物直売所として地元産の農産物にこだわった販売を中心としており、同時に豊富な農産物を活用した特産品作りに積極的に取り組んでいる。

第3分科会 座長 張谷和弘氏 (栲星の郷青空市代表取締役)



(はりたに かずひろ) 岡山県井原市 栲星の郷青空市代表取締役
中国山地に囲まれた、美星町の若い後継者が集まって、小さな直売所を作った。約20年前のことである。現在、小さなテントから出発した、その直売所は、大きなテントへと変り、組織も株式会社へとなり、消費者ニーズに応えた有機農産物の生産にも取り組む。
豊かな村づくり 農林水産大臣賞受賞

第4分科会 座長 山口成美 (おおむら夢ファーム：シュシュ代表取締役)



(やまぐち なるみ) 1960年大村市弥勒寺町生まれ 大村園芸高卒業 大村市農協(現JA県央長崎)の営農指導員として畜産農家の指導に携わる 平成2年に同農協退職後就農(有)シュシュの設立より取締役として活躍 ポジティブな発想と行動力を買われ 平成15年8月(有)シュシュ代表取締役に就任 平成19年3月全国地産地消活動交流促進部門で農林大臣賞受賞 現在大村市グリーン・ツーリズム推進協議会会長 県グリーン・ツーリズムアドバイザー 県観光審議会委員 長崎県観光マイスター

第5分科会 座長 吉田修 氏 (モクモク手づくりファーム:専務取締役)



(よしだ おさむ) 三重県熊野市生まれ、三重県経済連から農事組合法人伊賀銘柄豚振興組合を設立。その後有限会社農業法人モクモクを設立。代表取締役専務に就任。94年伊賀の里モクモク手づくりファームに名称変更。現在代表取締役専務。ニッポン東京スローフード協会加盟。三重スローライフ協会理事。観光カリスマ

第5分科会 助言者 衛藤康晴 氏(道の駅きよかわ物産館夢市場 清川産直友の会会長)



(えとう こうせい) 清川産直友の会会長
旧清川村役場時代から、基盤整備、減反政策、むら作りに奔走。「評論家的なことを言ってみても誰もついてこない！口で言う前にやってみせる」の、信念で夢市場の生産者の先頭にたつて地域振興はもちろんのこと地域の農業振興に大きく寄与している。76歳の年齢に負けることなく、物事に対し前向きで生産者から厚い信頼を得ている。

第6分科会 座長 近藤一海氏 (南部生産組合、大地のめぐみ代表)



(こんどう かずみ) 1951年南島原市有家町生まれ 法政大学法学部中退 中央卸売市場・神田東京青果入社 その後帰郷し就農 協同エコロジーファーム(株)、農事組合法人ながさき南部生産組合設立代表 ぐりーんねっとわーくジャパン代表取締役会長 全国産直リーダー協議会代表幹事 主に長崎県農政ビジョン推進委員 (財)都市農山漁村交流活性化機構委員 諫早湾干拓公募基準検討協議会委員他 第7回環境保全型農業推進コンクール、農林水産大臣賞受賞 長崎県民表彰等受賞

第6分科会 助言者 苫米地祥文氏 (道の駅とわだ 駅長)



(とまべち よしふみ)
青森県十和田市生まれ。中央大学法学部法律学科卒業。
平成2年コンビニエンス本部にて「事業のゆりかごから墓場まで」経営全般を手がけた。
平成3年道の駅とわだの開業に携わり、テナント特産品コーナー事業を立ち上げ、欠品防止システムプログラムを一から作り出し、産直の仲間に無償提供。平成19年道の駅とわだ駅長に(国内最年少では)道の駅としては全国初のグリーン電力証書を取得予定。

大会事務局 青木隆夫氏(全国直売所研究会事務局)



(あおき たかお) (有)ベネット 代表取締役
八王子市生まれ。東京農工大学農学部卒業。埼玉種畜牧場(サイボク)に入社後、楽農部長にて直売所活動に従事。有限会社ベネットを設立し、直売所活動に関わる書籍を多数発行。茨城大学非常勤講師、全国直売所研究会事務局

大会事務局 鹿山雅勝 (おおむら夢ファーム: シュシュ専務取締役)



(しかやま まさかつ) 1944年大村市立福寺町生まれ 大村園芸高卒後就農 30年間カーネーション中心の花弁生産に取り組み 長崎県カーネーション部会長、長崎県花卉振興協議会会長 歴任 (有)シュシュ設立当初から取締役として就任し 家業を長男に譲り、平成12年7月より専務取締役就任 長崎県フラワーアドバイザー